

第2回 燕市産業振興協議会 議事録

日 時：令和5年3月28日(火)
14時00分～15時15分
会 場：吉田産業会館1階第1会議室

参加者：鈴木会長（燕市長）

田野委員(燕商工会議所 会頭)

星野委員(吉田商工会 会長)

高野委員(分水商工会 会長)

小林委員(日本金属洋食器工業組合 理事長)

池田委員(日本金属ハウスウェア工業組合 理事長)

志田委員(協同組合つばめ物流センター 理事長)

阿部委員代理 本間氏(燕商工会議所 工業部会 部会長)

遠藤委員(燕商工会議所 小売商業部会 副部会長)

本間委員(吉田商工会 商業部会 部会長)

高浪委員(吉田商工会 女性部 部長)

中島委員(分水商工会 副会長)

平原委員(分水商工会 商業部 副部会長)

中静委員(第四北越銀行 コンサルティング事業部 県央西ブロック 上級コンサルタント)

池内委員(協栄信用組合 理事長)

杉本委員(巻公共職業安定所 所長)

佐藤委員(公益財団法人燕三条地場産業振興センター 専務理事)

南波委員(燕市副市長)

事務局：産業振興部長 他

会議次第：

1. 開 会

2. 会長あいさつ 燕市長 鈴木力

3. 議 題

(1) 新年度の産業振興施策について

燕市産業振興部商工振興課より令和4年度主要事業の実績について報告があった。続いて、商工振興課より令和5年度産業振興施策について、観光振興課より観光振興施策について説明があり、最後に新印青果西部卸売市場の移転新

築について説明があった。

(2) ハローワーク巻管内の雇用状況について

巻公共職業安定所 杉本至所長よりハローワーク巻管内の雇用状況について説明があった。

- ・新規求職登録が1年ぶりに増加に転じた。
- ・求人は減少になっているが、手続きのデジタル化が進み、一部対応していない事業主が手続きを行わなかったことが要因と考えられ、人手不足の傾向については変わっていない。
- ・新卒者については、今春に卒業して就職する高卒者は3月30日時点で就職希望者全員が内定している。卒業予定者の2割弱が就職を希望していることは変わっていないが、採用する企業の受け入れ体制が非常に丁寧であることより、各学校の就職に対する考え方が非常に良くなっている。世間で離職率3割と言われているが、各企業の研修等も充実していることもあり、昨年3月に卒業した就職者で見れば離職率は1割未満という印象。また、大卒者は来春就職者の就職戦線が始まった。
- ・コロナ特例の雇用調整助成金が終了となる。現状の雇用調整助成金の取扱い状況は、2月末現在管内200件ほどの支給申請となっているが、ほとんどが燕市内の事業所になっている。昨年の同時期が300件ほどで、件数的にはそれほど減少していないが、金額ベースでみると、今年度の初めは毎月約1億円程度支給していたが、現在は半分の5千万円ほどになっている。
- ・厚生労働省では、人材開発支援助成制度をつくり、企業の内部的な人材、再教育についての助成制度を拡充していく。

(3) その他

- ・来年度予算のポイントの中心市街地再生モデル事業の概要について質問があった。
→中心市街地再生モデル事業は、商店街を作るということではなく、地域全体を再開発するという事業内容。再開発した街にもっと人が集まってくる、賑わいの場を作るという取り組み。
- ・人口減少に歯止めをかけなければならないところで、市でも人口減少という課題に取り組まれているところだと思うが、その取り組みの情報が届いていない。燕は産業界のネットワークや情報もある地域だと思うので、市の補助金やサービスの周知をもっと広げていけたらいいのではないかと思う。
→市でも情報発信はしているが、意識がないとスルーされてしまう。そういったとき口コミが有効になる。市でも引き続き努力していくが、産業界をはじめ皆様にも広めていただけるとありがたい。また、燕商工会議所青年部と、

青年部のホームページと燕市のホームページがリンクさせる取り組みの話があり、4月に始めようと思っている。

- 燕青空即売会ツアー造成支援事業について内容の質問があった。
→新たな客層を獲得するため青空即売会を組み込んだ募集型バスツアーを造成した場合に、その旅行会社に対して補助を出すという事業内容。バス1台上限10万円補助。
- 市内を運行している公共交通のバスの利用率はどのくらいか。もっと増加すると市内の賑わいにもなるのではないか。
→バス増便には課題がある。市内の距離が長く、バスの切り回しが難しい。また、運転手不足の問題がある。バスの欠点を補うためにデマンド交通があるが、こちらもあまり増やすとタクシー業者の民業圧迫の問題があるので増加は難しい。
- 市の空き家対策で、空き家を解体する補助上限50万円がある。実際、空き家を解体して更地にすると固定資産税が6倍になる。固定資産税を変えることは難しいと思うが、もっと危険な空き家の解体を進めるために特定空き家の危険度を下げて補助金の額を増額するようなことはできないか。
→国も空き家問題を解決するために、特定空き家の要件や税法についても検討している。燕市も国の動向を確認しつつ、歩調を合わせていく。
- 来年度の予算のポイントの中で、道の駅国上の活性化があり、駐車場を広げるというのは非常にいいと思う。道の駅国上には燕市のメインの観光地になってもらいたい。本格的にアフターコロナに突入しているので、燕・弥彦の観光行政も活性化するのに、ぜひ皆さんから知恵をいただきたい。
→道の駅国上は、国上山を活かした道の駅というコンセプトと、「食」に重点をおいて始めた。残念ながら観光バスは多くないが、県外からの観光客が割りと多かった。当初は表のデイキャンプする場所などイベントをする場所を重視したが、冬場には売り場を大きく変え、燕市内の様々な菓子店から出品してもらうことで多くの来客があった。野菜も地元の農家が出品しているが、今後もっと広く募集し、若い農家にも野菜を出品してもらう道の駅を目指している。まず1年目は人に来てもらい、知ってもらい。そして、また来てもらうというアイデアをスタッフ一同考えている。これからまた人が動き始めるので、今年は昨年以上に集客できるようにやっていこうと思う。
- オリンピックカトラリーを市内飲食店に貸し出し、市内の飲食店活性化を図ろうと考えている。

4. その他

事務局より職員の異動について連絡があった。

5. 閉 会

参考資料 1

- ・令和4年度 主な事業の実績について

参考資料 2

- ・令和5年度当初予算のポイント（抜粋）

配布 資料

- ・ハローワーク巻管内雇用失業情勢等の概要 他
- ・新印青果西部卸売市場の移転新築にについて
- ・令和5年度中小企業支援制度